



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社電算システム
 コード番号 3630 URL <https://www.densan-s.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 靖哲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 宇佐美 隆

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	33,871	12.6	2,323	24.3	2,399	24.8	1,569	22.0
2019年12月期第3四半期	30,069	11.6	1,868	49.3	1,923	49.4	1,287	49.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,520百万円 (22.1%) 2019年12月期第3四半期 1,244百万円 (66.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	159.64	159.55
2019年12月期第3四半期	131.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	45,647	15,498	33.5
2019年12月期	37,024	10,873	29.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 15,301百万円 2019年12月期 10,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		13.00		14.00	27.00
2020年12月期		14.00			
2020年12月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	14.9	2,500	10.2	2,590	10.8	1,604	2.9	163.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	10,786,000 株	2019年12月期	10,040,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,023 株	2019年12月期	254,901 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	9,834,644 株	2019年12月期3Q	9,785,099 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な拡大により国内における経済活動が抑制され、依然として先行きは不透明な状況となっております。このような経営環境において、当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は338億71百万円(前年同期比12.6%増)、利益においては、営業利益は23億23百万円(前年同期比24.3%増)、経常利益は23億99百万円(前年同期比24.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億69百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報処理サービスにおいては、新型コロナウイルス流行の影響によりイベント中止、延期が相次いだことから各種ギフト処理サービスなどの処理件数は減少を余儀なくされ売上が減少いたしました。一方、S I・ソフト開発及び商品販売においては、GIGAスクール関連案件、オートオークション業務システム、教育関連システム、デジタルサイネージ、また、高まるリモートワーク需要などによりChromebookやG Suiteなど売上が伸長しております。なお、当第3四半期より情報セキュリティ事業会社である株式会社ピーエスアイを新たに連結の範囲に含めております。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は201億99百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は17億38百万円(前年同期比27.9%増)となりました。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、新型コロナウイルス流行の影響により提供サービスごとに明暗が分かれる傾向は続いているものの、主力の払込票決済においては昨年来の新規獲得先の稼働が逐次始まってきており件数の伸び率は順調に回復してきております。この傾向は今しばらく続くものと想定され、売上伸び率は次第に回復してくると見込んでおります。また国際送金部門の期間黒字は達成でき、通期黒字が見通せるようになってまいりました。なお、7月より本格稼働を開始しましたDSK後払い、その契約先を伸ばしてきており、順次稼働が始まってきております。全体として、売上の伸びの支えとなる地方公共団体を含む新規先の獲得状況は計画通りに進展しております。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は136億72百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は5億65百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して86億23百万円増加し、456億47百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億10百万円減少したものの、現金及び預金が34億79百万円、金銭の信託が21億5百万円、受取手形及び売掛金が16億19百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して39億98百万円増加し、301億48百万円となりました。これは主に、長期借入金が2億70百万円減少したものの、短期借入金18億6百万円、収納代行預り金が15億68百万円、賞与引当金が4億27百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して46億24百万円増加し、154億98百万円となりました。これは主に、資本剰余金が20億5百万円、利益剰余金が12億96百万円、資本金が12億39百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年7月30日の「2020年12月期第2四半期決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,132,192	12,611,259
金銭の信託	13,054,939	15,160,530
受取手形及び売掛金	5,894,472	7,513,783
商品	69,852	49,436
仕掛品	1,337,204	1,200,311
前払費用	1,501,174	1,872,724
その他	54,630	79,669
貸倒引当金	△671	△662
流動資産合計	31,043,796	38,487,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,336,823	1,308,178
土地	791,098	791,098
その他（純額）	584,071	782,536
有形固定資産合計	2,711,992	2,881,812
無形固定資産		
のれん	300,331	1,383,916
ソフトウェア	379,116	309,764
ソフトウェア仮勘定	70,916	112,659
その他	36	36
無形固定資産合計	750,400	1,806,376
投資その他の資産		
投資有価証券	2,066,882	1,856,676
繰延税金資産	73,661	202,884
差入保証金	358,750	366,539
その他	18,597	45,867
貸倒引当金	△59	△106
投資その他の資産合計	2,517,832	2,471,861
固定資産合計	5,980,225	7,160,050
資産合計	37,024,021	45,647,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,285,964	3,167,469
短期借入金	24,000	1,830,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	359,328	359,328
未払法人税等	524,784	593,695
前受金	1,485,731	1,846,081
収納代行預り金	17,274,049	18,842,463
賞与引当金	5,835	433,206
役員賞与引当金	1,000	47,302
受注損失引当金	3,478	—
株主優待引当金	34,963	2,491
その他	1,436,055	1,303,723
流動負債合計	24,435,189	28,445,762
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	1,178,061	907,732
役員退職慰労引当金	229,682	436,861
退職給付に係る負債	40,956	69,622
資産除去債務	18,268	23,950
その他	248,569	254,972
固定負債合計	1,715,538	1,703,138
負債合計	26,150,727	30,148,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,229,213	2,469,146
資本剰余金	651,367	2,656,888
利益剰余金	8,965,474	10,261,481
自己株式	△84,450	△248
株主資本合計	10,761,604	15,387,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,849	△85,554
その他の包括利益累計額合計	△20,849	△85,554
非支配株主持分	132,539	196,488
純資産合計	10,873,294	15,498,202
負債純資産合計	37,024,021	45,647,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	30,069,879	33,871,933
売上原価	24,812,848	27,837,617
売上総利益	5,257,030	6,034,315
販売費及び一般管理費	3,388,550	3,711,176
営業利益	1,868,479	2,323,139
営業外収益		
受取利息	547	747
受取配当金	40,465	53,960
持分法による投資利益	—	325
受取手数料	1,585	2,548
固定資産売却益	—	23,701
投資事業組合運用益	9,638	11,190
為替差益	5,468	1,256
未払配当金除斥益	277	234
その他	3,179	9,294
営業外収益合計	61,163	103,259
営業外費用		
支払利息	4,260	9,208
支払手数料	—	8,439
持分法による投資損失	2,068	—
デリバティブ評価損	—	8,804
その他	50	—
営業外費用合計	6,380	26,453
経常利益	1,923,262	2,399,945
特別利益		
子会社株式売却益	—	23,073
特別利益合計	—	23,073
特別損失		
投資有価証券売却損	—	18,608
特別損失合計	—	18,608
税金等調整前四半期純利益	1,923,262	2,404,411
法人税、住民税及び事業税	696,995	895,374
法人税等調整額	△82,650	△75,678
法人税等合計	614,345	819,696
四半期純利益	1,308,916	1,584,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,543	14,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,287,373	1,569,988

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,308,916	1,584,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,060	△64,704
その他の包括利益合計	△64,060	△64,704
四半期包括利益	1,244,856	1,520,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,223,313	1,505,283
非支配株主に係る四半期包括利益	21,543	14,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は第2回新株予約権の行使に伴う新株の発行による払込みを受け、資本金及び資本準備金が12億39百万円、その他資本剰余金が7億65百万円増加するとともに、自己株式が84百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が24億69百万円、資本剰余金が26億56百万円、自己株式が0百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,070,692	12,999,187	30,069,879	—	30,069,879
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,494	248	13,743	△13,743	—
計	17,084,187	12,999,435	30,083,623	△13,743	30,069,879
セグメント利益	1,359,231	473,905	1,833,136	35,342	1,868,479

(注) 1. セグメント利益の調整額35,342千円は報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,199,886	13,672,047	33,871,933	—	33,871,933
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,868	258	8,127	△8,127	—
計	20,207,755	13,672,306	33,880,061	△8,127	33,871,933
セグメント利益	1,738,310	565,004	2,303,315	19,823	2,323,139

(注) 1. セグメント利益の調整額19,823千円は報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、株式会社ピーエスアイの持株会社であるACAS2株式会社の発行済株式の全てを取得したため、ACAS2株式会社及びその子会社である株式会社ピーエスアイ、アストロ日高株式会社を連結の範囲に含めております。なお、当事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,145,594千円であります。